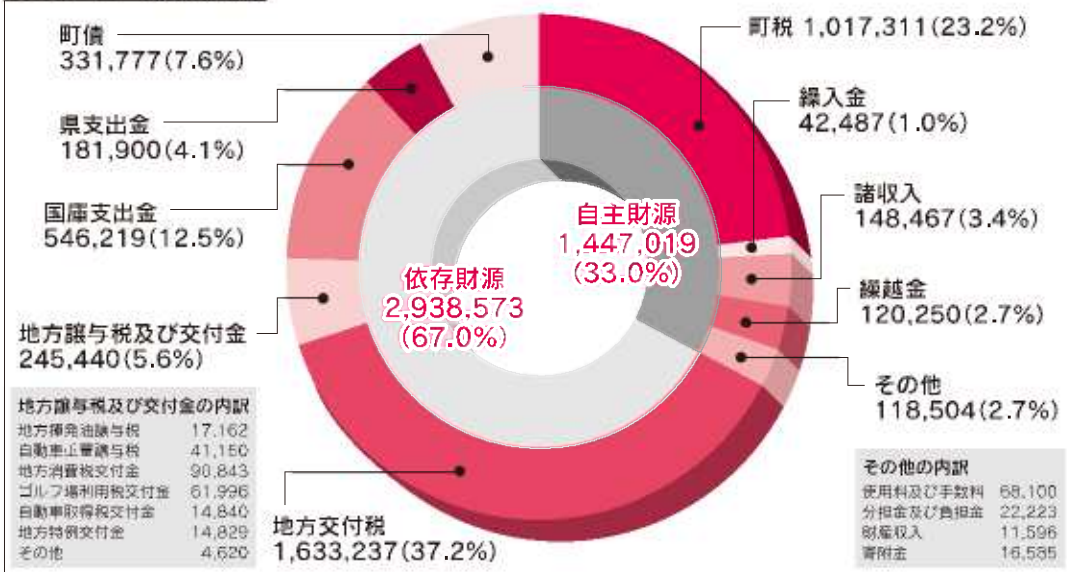


大郷町の決算概要

平成22年度の一般会計及び各種特別会計の決算の概要をお知らせします。

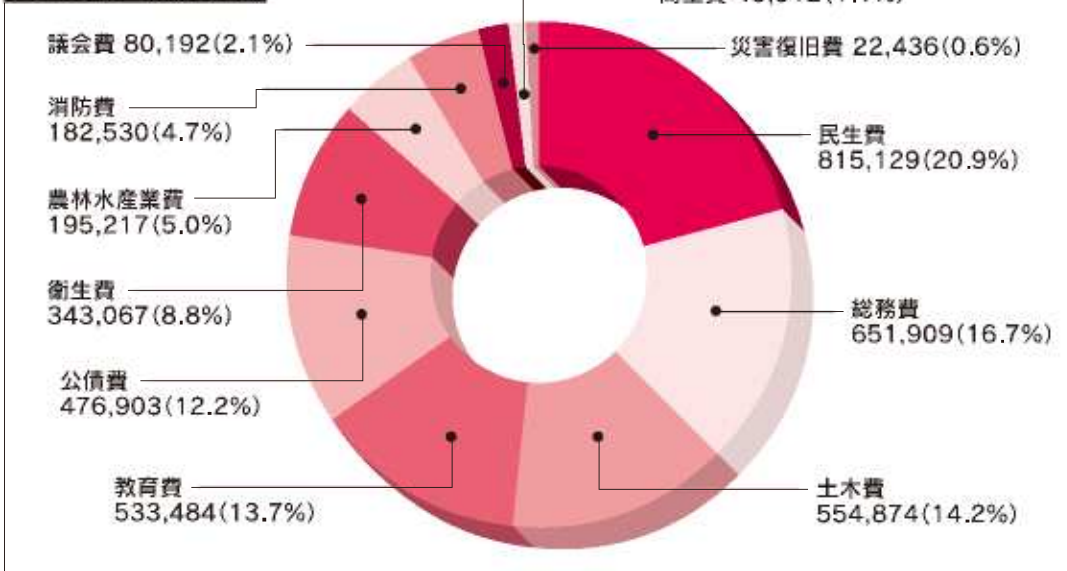
グラフ1 歳入内訳

(単位:千円)



グラフ2 歳出内訳

(単位:千円)



平成22年度の主な事業 (単位:千円) ()内は対前年度増減率

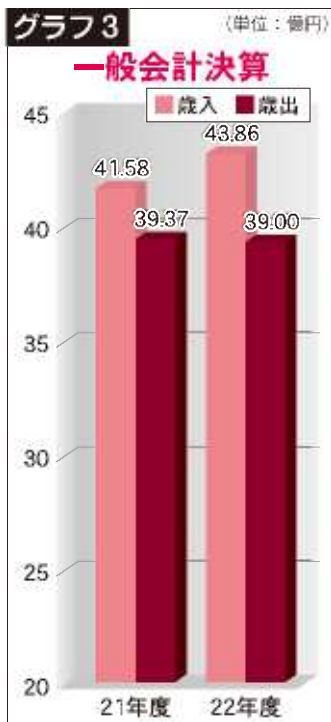
町道・生活道・橋梁改良等	325,646	(76.1%)
障害者自立支援給付費	103,959	(8.5%)
大郷保育園運営費	91,980	(13.8%)
大郷幼稚園運営費	82,537	(▲9.0%)
光ケーブル敷設事業	50,319	(皆増)
住民バス事業	34,382	(▲16.6%)
奨学資金貸与	23,400	(▲6.1%)
(黒川地域行政事務組合負担金等)		
ごみ処理、最終処分場経費	123,559	(▲17.7%)
消防経費	138,876	(3.6%)
公立黒川病院経費	61,631	(3.7%)



改良された山下橋



保育園



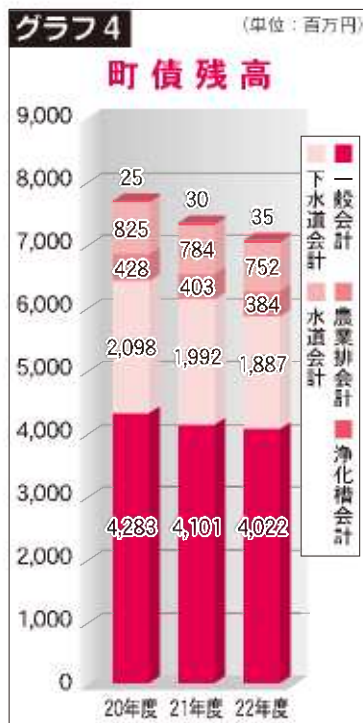
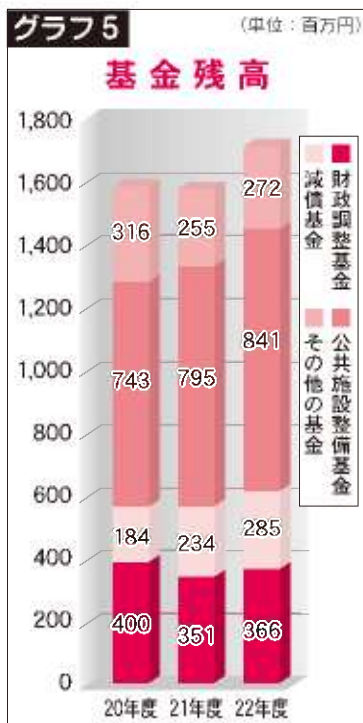
平成22年度の一般会計の決算概要は、右ページのグラフ1及び2のとおりです。歳入から歳出を差し引いた剰余金は約4億8千594万円、そのうち、年度内に事業が完了しなかったため、翌年度に使用することにしたお金(繰越明許費)約2億4千612万円と事故繰越し(1千715万円)と、基金への積立金(1億3千万円)を除いた翌年度への繰越額は、9千267万円になりました。

次に、グラフ3をご覧ください。

平成22年度の歳出は、前年度比3千7百万円(1.0%)減少しました。歳入では町税が前年度比約1千8百万円、地方譲与税及び交付金が約8百万円、繰入金が約1億4千1百万円それぞれ減少しましたが、地方交付税が約1億3千2百万円、国庫支出金が約1億1百万円、県支出金が約2千8百万円、地方債が約1億1百万円増加しました。また、諸収入のうちポトピア大郷から約2千4百万円、オフト大郷から約2千1百万円の交付金が交付されました。

歳入全体では前年度比2億2千8百万円(9.5%)増加しました。

町税収入を平成23年3月末の人口8,989人(住民基本台帳ネットワークによる人口)で計算しますと、



町民一人当たりでは11万3千173円で、これに対して町が使ったお金は同じく一人当たり43万3千825円になります。

町債(町の借金)残高は、グラフ4のとおりです。一般単独事業債の借入額が減少したことなどにより、一般会計における町債残高は、昨年より7千9百万円ほど減少して、約40億2千2百万円、町民一人当たり

では11万7千381円になりました。また、基金(町の貯金)残高はグラフ5のとおりです。

各種特別会計等の決算状況は、表1及び表2をご覧ください。

町では今後も財政運営の健全化に向け、努力してまいりますので町民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

表1 各種特別会計決算

(単位：千円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差し引き
国民健康保険特別会計	938,326	873,952	64,374
老人保健特別会計	1,819	1,819	0
介護保険特別会計	802,485	785,426	17,059
後期高齢者医療特別会計	67,087	66,163	924
下水道事業特別会計	213,162	209,754	3,408
農業集落排水事業特別会計	52,391	48,548	3,843
戸別合併処理浄化槽特別会計	32,508	31,270	1,238
計	2,107,778	2,016,932	90,846

表2 水道事業会計決算

(単位：千円)

区分	収入	支出	差し引き
収益的収支	223,136	230,401	△ 7,265
資本的収支	32,177	89,063	△ 56,886

収益的収支：水道事業の経営状況
資本的収支：資産及び資本の状況

※資本的収入が資本的支出に不足する額56,886千円は、過年度分損益勘定留保資金55,681千円及び当年度消費税資本的収支調整額1,205千円で補てんしました。